

五
一

天保
九
辰年冬十月

草高百石下附米之動定大概解

中山厚好大人校

菊池之則撰

菊
20

富山大学

菊池文書

13

10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

一〇五
 一〇六

免馬の事

免馬の事 先年 京都府 桂馬村 故
 孫氏の 故近江守 梅村 氏 あり 其 節
 是書 指 示 梅村 氏 の中 々 尊 貴 なる 故 只
 弟 といひ 言ふ すべて 諸 君 諸 君 なる 故
 なる 故 小 さい 国 といふ 如 幸 社 界 といふ
 社 界 といふ 海 の 操 場 とも 国 といふ 国 といふ
 国 といふ 国 といふ 国 といふ 国 といふ 国
 免 といふ 免 といふ 免 といふ 免 といふ 免

此又別數中ハ三及二百五拾步拾ヲ重
クシテ五町ト云則三子方百步也畝ハ三及一拾々々

三拾六歩也六町十六畝方六百歩六反八畝十而
六拾六畝ハ畝ハ畝而拾六歩也三畝三拾六歩ノ數
満タカルモノハ歩ニテ云格也故ニ一畝ニ數満タ
ル畝拾六歩アリ六町六反六畝ノ歩數畝方ニ
九百七拾六歩外ニ畝拾四歩都合畝方四歩也
越中ハ草高キ石ニ歩當リ畝百四拾歩ノ所定
第百石ナレハ畝方四拾歩也

△是よりト云仰安草目六尺三寸四方也

△是より三百六拾歩斗代三石斗方ヲ言ニスル

斗代ト云

△石川郡河北郡能登四郡言キ石ノ斗代畝百

歩也是より三百歩高ニテ是石ノ斗

能登郡ハ言キ石ノ斗代而七拾六歩四重七也

是より三百歩高ニテ是石ノ斗

算術

△歩ヲ二四ニテ割ハ高ニナル候令三百六拾歩ヲ

二四ニテ割ハ是石ノ斗トナル

△歩ヲ三六ニテ割ハ五別ニナル三拾六歩ノ數ニ満

タカル歩ハ割ルベカラズ候令畝方四歩ヲ反別ニ

スレハ六町六反六畝畝拾四歩トナル

△高三二四ヲ掛ハ歩ニナル候令百石ニ二四掛ハ畝方

四手歩トナル

△六町ハ言ミテ九拾石 六反ハ言ミテ九石

六畝ハ言ミテ九斗 畝拾歩言ミテ五斗

ノ石石也

○但ス反三石拾歩中石盛或石拾歩
則斗升十五

是名言三石拾歩中石盛是ノ石盛ト云
斗升十五ト云ハ則右言是名石斗ト云一也

○惣下ニ附米ノ勘定

田地下小他下ニ附米ノ勘定ト云意也

○一斗万石の歩

右反別歩數

及別ノ丁前ニ記多石ノ六町六反六畝廿四歩ノ惣
歩一斗万石の歩也試テラ差ニ記ス是ヲ記サズミテハ
左ノ内輪指引デキ不申ス也

内

○七畝拾歩

但反引

斗升或石を升六石 但反合ハ石の歩

是、歩數大九、高石持々而性居、後麻留等
見、[△]但此合ハタ歩トハ、[△]六尺三寸四方ノ地
面ヨリ、[△]年貢此合ハタ取立中、[△]是也、[△]是ヲ合盛
トモ又ハ、[△]此合ハタ歩、[△]或ハ又合ナレハ、[△]又合歩、[△]三合
ナレハ、[△]三合歩、[△]ナト、[△]云此此合ハタヲ七百廿四置カサ
又レハ、[△]此石を并合ニ、[△]ルト云フ、[△]ナリ
△百姓屋敷ニ、[△]歩數大小所定ハ、[△]是、[△]係村等
定、[△]並テ、[△]所モアリ

○武子石持歩
川地
け、[△]石、[△]武子、[△]八合
但、[△]合ハタ歩

川地ハ高石、[△]付六、[△]及、[△]所定、[△]係六、[△]及、[△]ヨリ内ハ不
苦六、[△]及、[△]ヨリ上ハ、[△]川、[△]ヤト、[△]ノ、[△]所、[△]事也六、[△]及、[△]ハ、[△]武子、[△]而
六、[△]指、[△]歩、[△]高、[△]石、[△]付、[△]廿、[△]五、[△]及、[△]六、[△]重、[△]ミ、[△]ハ、[△]而、[△]姓、[△]高
所、[△]持、[△]イ、[△]タ、[△]ス、[△]内、[△]ハ、[△]幾、[△]年、[△]ニ、[△]テ、[△]モ、[△]我、[△]持、[△]分、[△]地、[△]面、[△]イ、[△]タ、[△]シ、[△]川
屋、[△]ヲ、[△]川、[△]地、[△]ト、[△]云、[△]フ、[△]先、[△]ッ、[△]上、[△]田、[△]ノ、[△]内、[△]川、[△]ハ、[△]仍、[△]先、[△]地、[△]面、[△]ノ、[△]善、[△]惡
ニ、[△]抱、[△]人、[△]々、[△]向、[△]寄、[△]ニ、[△]テ、[△]川、[△]モ、[△]アリ、[△]併、[△]地、[△]面、[△]ノ、[△]甲、[△]乙、[△]ニ、[△]不
抱、[△]川、[△]地、[△]合、[△]盛、[△]ハ、[△]一、[△]村、[△]同、[△]事、[△]ナ、[△]リ、[△]若、[△]川、[△]地、[△]ノ、[△]内、[△]川、[△]崩、[△]山
被、[△]等、[△]ノ、[△]變、[△]有、[△]之、[△]時、[△]ハ、[△]所、[△]田、[△]地、[△]割、[△]ノ、[△]節、[△]越、[△]百、[△]姓、[△]納
得、[△]ノ、[△]上、[△]何、[△]方、[△]ニ、[△]モ、[△]置、[△]地、[△]ノ、[△]内、[△]川、[△]取、[△]是、[△]近、[△]ノ、[△]地、[△]面、[△]ハ、[△]シ
此、[△]地、[△]ハ、[△]出、[△]ス、[△]也、[△]常、[△]ニ、[△]川、[△]替、[△]ノ、[△]事、[△]ハ、[△]不、[△]由、[△]也、[△]高、[△]石、[△]持
ナレハ、[△]其、[△]高、[△]石、[△]應、[△]川、[△]中、[△]事、[△]也、[△]三、[△]合、[△]ハ、[△]タ、[△]歩、[△]ノ、[△]前、[△]の

茶同様

○但屋敷引さるる後麻留或川地

るる引

此仕立ニテハ百姓屋敷を人分大村何拾歩ト云
ゝお定は定まり屋敷有る之分ハ川地あり
内なる歩敷お蔵又村居り屋敷歩敷を云々
川地あり之外余計ニ引テ上車田又麻留ハ
上畑ナレ故此處ニ宜之麻留多るモ猪手ニテ波トノ
車トお定ナ

○子八石分

ギンワリ ギンワリ
茶葉別或中別反

○茶葉七石或中

但田合分

田田地割ノ常何ノ村ニモ村中ノ上田ヲ先
地ニ引ス其次ノ上田ヲモ中割ト名付大抵地元
揃タル地面ヲ見斗リテ立至る百姓言由程圖
ニテ人々引ス也又其次ノ地面ヲ或番割ト云
此等品大凡又ト見斗リ^但三石五拾歩宛ニ
^お引^り△合盛ハ平均ニテ記スト見ユルナリ

○六子田八拾歩 上田壹所ハ反

は茶葉拾石中或井八合 但三合六タ分

○前ヶ条ノ同祖ニ計畝別ノ次ノ田地是程アリ
ルトノ見事ナリ

○六子市ノ拾分 中田ニ所ハ友

此年拾分計田井田各 但或合分あり

前ヶ条ニ同祖又上田ノ次ノ田地ニ所ハ友アルト云
見事ナリ

○六子市ノ拾分

中田ニ所ハ友
此年拾分あり

○此年拾分計田井田各

但或合分あり

前ヶ条ニ同祖又中田ノ次ノ田地ニ所ハ友計田井田拾
分アルト云見事ナリ

○六子市ノ拾分

夕附ハ何事も平均
ニアルト云

○夕附ハ則前ニ記重合盛ノ一〇夕附何事も平均ハ
未申別ハ何合分計田井田各 何合分別々ニ記
申所平均ニテ記ト云ナリ

○六子市ノ拾分

○米ノ七拾五石五斗五升六合

ツキミテメ

○米五斗見テ七ツミヤク重五毛六味

口米去テハ六ツ目方四重九毛

米五斗見テハ八斗有米七拾五石五斗五升六合免
ミテ見ルトキハ七ツミヤク重五毛六味ニナルトノ事

算術

△越有米七拾五石五斗五升六合ヲ村高ニテ割テハ
免ニナル也

口米去テハ六ツ目方四重九毛

免ニナル也

口米上六往古ノ升ヨリ當時ノ新京升小サナル也

米トテ是石付五斗五升即令増上テニナル是ヲ

口米ト云石七拾五石五斗五升六合ノ内此口米七石

五斗五升六合ニ引去レハ六拾四石四斗九升五

合セタトナル是ヲ免ニスレハ六ツ目方四重九毛トナ

ルナリ猶旧記アリ如左

算術

△越有米ノ内口米ヲ去ルトキハ是を五斗ニテ割レ

ハ定納ニテニナルナリ

賞

一 賜勅許并并能州羽喰麻後等給ハ他主ノ年也
此ノ江合中ノ乃後ハ但所云ハ他主ノ年也其ハ不
苦能能州國玉珠國等給ハ此給ハ他主ノ年入て

一 他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也
其ハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也

一 大正江并油種ハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也
此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也

一 所願國中百五ノハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也
此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也

東林ト寫ス
ハトアル并ト同
積ナリ

一 納儀波少拂ハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也
此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也

一 寛文ハ此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也
此給ハ他主ノ年也其ハ此給ハ他主ノ年也

寛文六年十月廿日

布多安房
今枝民部

奥村因情

菊田野馬

横山 左馬
長九郎

奥村 伊豫

津田 守安

長崎 入之部

賞

跡山 承運
年ノ一

一所分國中而此方納斗升斗子今奉
而改新市升十入之斗升斗子今奉
一福斗升斗子新市斗子今奉
是斗升斗子今奉斗升斗子今奉

斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉

斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉
斗升斗子今奉斗升斗子今奉

奥村 因懷
若田 升馬
横山 左馬
長九郎

中多安房

津田守實殿
長徳又書及

即分國中斗律斗子先而年所改定律付
新市律之收納有之市預書寫卷下
新市律拾升入早速來年より先而年
先斗律よりより其内古年お痛く弦想
市律より斗律之先宛五がて依る儀より
以後高裁許市律中より有市律獨り
法に違ひ律より入拾為斗律より

西國運送仕るるものあり

寛文十年丙午也

八月廿日市平 市平用儀

加高徳用中

市平用中

一而年更年古斗子納付給人證有之新
市律より市律より地書目より市律用
おて付向後古斗子も收納仕る為給中
此 作書系存之証立市律中の証より
付之也

午
青

劉村源
劉池大學
何處同語

二、長年落城何つて、斗代と有る、米
石、又米、揚子中、りぬ、お、又、長、九、年、五、口、
米、の、業、お、八、子、之、中、

小井口第六、第七九年より有る、其上市給ふ
由の如く、内收納米を俵俵下付米とせしむ。
納科は、早米より内倉三俵おろし之和せ

奉之於天只字不爲封典四紀五

口平之氣乃與之相立七年之

市家中侍中 收納金斗子 育之

家生未拔者以教同而勉之甘坐保促結

其月石象年未而贈以符籙安仕使

依之至方梳乃所爲也車口果下右

付山家山中下西陲斗山家前八石之付

八升早こめを寛文九年分只今用に事拜

其意者不非分といふ也

氣之所性寬又十年而有所益乎是所自今

宛
此
佛
付
山
上

八月九日

横山中野
野村嘉清

多度中も苗新米を買はる。此所
定し十月切よりかいて仕る所老中迄
斗下りなるをいふ。多度中付たる
一法給へ下代補へ依て依て作出所迄
通多度中付たる。
一初めより代一日或は補下人を庫納ひ
何人つまひ大自を補へたる。
一上り者小者を補へたる。いさひ。

一下つまひ下代上下或は補へたる。
一下人馬のり出せり。而も初め不付送たる
へき。但し里よりかき下りたる。

一未進をさるるに於て代き。いさひ有る用
一日。を床にお納む。而も初め補へたる。
右通所定し通は。いさひ。あつてかゝるお
守り。

安永三年

九月

水越長右衛門
平井忠之助

内
○日拾五廿日谷 免馬成方と宮病

は内

日拾五廿日谷 皇納 日拾五廿日谷 日拾

△村高と免馬成方掛しは定納あり是日拾成石也

△日拾成石と免馬成方掛しは皇納日拾五廿日

△因に古手御皆淋状写ス

乙酉三十三

計あり

二口

越中

神代村

千々日拾二才中

日拾十三日拾二才中

忌

陽子

子正を信を中

は内

日拾八日拾二才中

日拾門

△日拾成石二才中

之納

は内

日拾五廿日

△日拾

信あり

七信

日拾五廿日

△日拾

日拾二才中

但さーとさる

赤色

石高徳院御印也

とふま

六月日御下

右高徳院様御印也

免るべき可考

△印は、右御印有るものなり

B
下

未
有

月詔

一、冬拾八石中各

付物成三

井波町

一、冬拾八石中各

定例

一、冬拾八石中各

石と云

但し右石中各

一、冬拾八石中各

一、冬拾八石中各

井波町

付物成三

一、冬拾八石中各

定例

一、冬拾八石中各

石と云

一、冬拾八石中各

一、冬拾八石中各

西井波村

付物成三

非林林
其林林

六右田井之合

冬平之合

六右田井之合

冬平之合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

合

用米二斗各あるをいふは、
 用米二斗各あるをいふは、
 用米二斗各あるをいふは、

仲夏節米米米、二重債、
 仲夏節米米米、二重債、
 仲夏節米米米、二重債、

○
 四斗八升

町長所傳、
 町長所傳、
 町長所傳、

村長所收納米、
 村長所收納米、
 村長所收納米、

○
 三斗五升

春秋米、
 春秋米、
 春秋米、

三斗五升
 一斗五升
 一斗五升

慶長十五年ヨリ村役ノ平丈ヲ止メ、
 慶長十五年ヨリ村役ノ平丈ヲ止メ、
 慶長十五年ヨリ村役ノ平丈ヲ止メ、

算術

△六拾八分、
 △六拾八分、
 △六拾八分、

其年より所部中より所轄人より氣を
あつて所部中より所轄人より氣を
附る村より所部中より所轄人より氣を
所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を
言ハキ業増減有るは所部中より所轄人より氣を
所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を

歌中より所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を
一の所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を

一耕田情より所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を
一の所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を

若

一耕田情より所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を
一の所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を

若

一耕田情より所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を
一の所部中より所轄人より所部中より所轄人より氣を

住還
修理

うしよに屋敷角又志林とあるが蔵橋と合
那部と名付た木のお調付住還箱及び橋修
理角限とある料限とあるが事

一部中百姓とある義は用場の中を指し治身
原とある付事

一在り偏効とある令停止を所貴威義と
根とある付事

一新園仕とある中百姓とある其百姓とある
十村とある事那部の表書を加算用場と
あり指し治身とある事

一撫地とある中百姓とある事那部の表書

所とある
根とある
考

極子目とある義は用場とある事

一化國とある事那部の表書を加算用場と
ある事人として世の中撫地とある事那
部の表書とある事

一百姓地とある事那部の表書とある事
百姓とある事

一百姓とある事那部の表書とある事
十村とある事那部の表書とある事
百姓とある事那部の表書とある事

右被 作知とある事那部の表書とある事
万治とある事那部の表書とある事
今被民部

萬治二年。西郷藩子よりせ難穀積あり。此
作付事。延自。然。り。御。締。方。お。池。を。後。進。と。若
目。而。已。之。積。物。を。お。成。し。付。て。得。幸。中。右。所。軍。年
賦。還。と。し。作。付。け。○。此。倉。軍。刻。後。方。に。村。と。子
高。と。刻。并。付。け。○。右。室。倉。米。を。南。急。所。建。立
御。積。今。お。成。し。罷。に。砥。波。郡。より。

今更なる月給再上申、一組は月何々村と云ふ
箇内を在るを要し、又併に村人撰する也。箇内
より若くは重む箇内組方より何々村と云
ふも浪人神し者土面姓家も在り越根藉
たわぬ我といふ。此又ハ虚言偽中し者多
し之乃て而往還篇に右浪人未だ箇内に
村に從へず後出送あるおそれ箇内なり
依り村々詮算ありして其れ宛實或為

[illegible]

次牙、指除する

村中あり、そのうち、我は田留作家を

おき、そのうち、村を脱する事

村中、角道場坊主を脱する事、田

留作、よその、敵、付する、但田留

作、よその、敵、付する、せい、と、あて、指除

する

村、中、あり、そのうち、我は田留作家を

おき、そのうち、村を脱する事

死、せ、歸、する、そのうち、我は田留作家を

他、おき、そのうち、我は田留作家を

六

指除する

村、中、あり、そのうち、我は田留作家を

おき、そのうち、村を脱する事

死、せ、歸、する、そのうち、我は田留作家を

指除する

村、中、あり、そのうち、我は田留作家を

おき、そのうち、村を脱する事

死、せ、歸、する、そのうち、我は田留作家を

他、おき、そのうち、我は田留作家を

来、る、そのうち、我は田留作家を

来、る、そのうち、我は田留作家を

新井村言明之被任付事

望

十月八日 岡元兵庫判

戸部村 寺島

久保村 寺島

太田村 宗島

志保村 又次

安川村 仙島

一 壬方 手前 寺島村 被任付事

即日安場より被任付事 何れも為替事

可被任付事

一 人数 寺島村 寺島村 寺島村

一 人数 寺島村 寺島村 寺島村

一 人数 寺島村 寺島村 寺島村

一 人数 寺島村

右と通ふ中 寺島村 (一) 寺島村 寺島村

寺島村 寺島村 寺島村

寺島村 寺島村 寺島村

寺島村

寺島村

八日

田舎山

戸部

〇人権九石五斗

前々七種を七斗五斗六斗七斗八斗九斗十斗

〇物

拾玖石五斗六斗

中他ヨリ
佛

右言持而性分也と云ふ下し他も他うせし時
持りて云ふ今也分は言持而性分事又親也
トモ云佛来トハ他ノ性分を成事と云

〇但余来

そふ或重三毛余の他性といふ

他性分則右に佛来ヲ他性トモ云但た他分ハ
佛来ト云ふ他ノ時ハ他性ト云ふ他ノ他分ハ自
分ニ他を云ふ云々云々付来云々云々余来アル
を云ふ佛来ト云ふ云々云々付来云々云々余来
アル云々分余来ト云ふ云々云々付来云々云々
分ハ余来来ト云ふ此余来来云々云々拾玖
石五斗六斗云々云々付来云々云々余来成
是則云々分或重三毛余来也

村部手寫

越中橋波取言圖村相成之事

幸村軍言

内拾石明曆戊子夏秋方上付各極極

二百拾石

外之口方同之云九年明曆戊子上元

石多付通新米許云云納米支銀定納

石有付百石極同元只米石云云許云許云元

可也

因村少相成之事

二百九石

山役

中米足極石云

五石云

受借利息

明曆戊子冬冬免除

石少相成云云十村見云云云云指

おる云云云云通云云云云

定云云

九月七日御印

高田村

百姓

新泉村下し御禮文

新波部利之村大活食村野日村金市村
領内なる高三橋石宮文指成事し云云
新室う仕方則ち付く来高年々或は
此方より同に年同指地極る云云
是より一連納不云の月可中納不云也

寛文拾貳年二月廿二日 七判

河内保安口
水上寺口
中村助安口

毛利又安口
中村保安口
大坂 松永公安口

新波部利之村
大坂

日新寺村
次子

石新屋年俵之所定より年俵而云々
滞り別と有也

上
80
下
紫
入
子
子

寛永拾年（一）納米之月（二）里（三）

山手文書（四）

一
參
拾
石
者

以
是
石
成
石
役

合
拾
石
者

定
納

右
是
石
令
收
納
不
必
件

石
上
月
十
音

澤
町
新
九
郎
判
少
林
九
郎
判

石
上
村
西
陽
村
乃
是
村
之
石

助
手
會

石
上
役
之
石
上
子
子